

広報・教育部門

応募事例名

ミニさっぽろ下水管理センター

応募団体名)札幌市

応募事例の概要

本事例は、札幌市子ども未来局が主催しているイベント「こどものまち ミニさっぽろ※」において、「ミニさっぽろ下水管理センター」と称し、下水道管の調査に関するブース出展を行ったものです。

「ミニさっぽろ下水管理センター」

子供たちが、下水管理センターの職員になりきって、下水道管路調査などのお仕事体験をするものです。

お家で使ったあとの汚れた水をきれいにする仕組みを学んだ後、ヘルメットと軍手、作業ジャンパーに着替えた子供たちが、現場で使用する本物のテレビカメラを使って、実際に取付管の中を観察し、破損箇所に見立てて配置した札幌市下水道キャラクターを探し当てるなど、ゲーム性を持たせて、楽しく取付管の中を調査しました。

※こどものまちミニさっぽろ

札幌市主催。札幌市内及び広域圏の小学校3・4年生が仮想の街である「ミニさっぽろ市」の市民となり、擬似的な就労・消費生活等の市民体験を行い、働くことの楽しさや大変さを経験し、社会の仕組みを学ぶイベントです。

こどものまち ミニさっぽろホームページ: <http://www.mini-sapporo.com/>

PRポイント

- ・ヘルメットや軍手、作業ジャンパーの着用で、職員になりきり、下水道の仕事を体験することにより、下水道の存在や下水道を身近に感じてもらうことが出来ました。
- ・特別な資材などを使わずに、現場にある材料や機材で構成したことで、普段、地中に埋まっている管路施設の構造がわかるようになっている。